

社会資本整備審議会道路分科会 第41回東北地方小委員会
【議事録（要点）】

1. 日 時

令和5年11月15日（水）10:15～12:00

2. 場 所

東北地方整備局 仙台河川国道事務所 2階 大会議室

3. 出席委員

井岡 佳代子	青森大学 総合経営学部 准教授
葛西 誠	秋田工業高等専門学校 創造システム工学科土木・建築系 准教授
菊池 輝	東北工業大学 大学院工学研究科 教授
齋藤 幹治	(一社)東北経済連合会 専務理事
宮原 育子	宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 教授
吉田 朗	東北芸術工科大学 基盤教育研究センター 教授

4. 議事内容

□審議結果

【国道112号山形南道路】計画段階評価（3回目）

- ・審議内容は概ね妥当とされた。
- ・対策方針(案)【B案バイパス案（別線整備案）】は妥当と判断された。

【国道4号福島北道路】計画段階評価（1回目）

- ・審議内容は概ね妥当とされた。
- ・第1回意見聴取を進めることで了承された。

□報告事項

【高規格道路ネットワークのあり方について】

□主な意見

【国道112号山形南道路】

- ・冬期交通環境に対する意見も多いことから、この点も今後の検討に加えていただきたい。
- ・通過交通等がスムーズに通行できるよう、事業中の山形中山道路との接続部へも配慮いただきたい。

【国道4号福島北道路】

- ・沿道出入り車両による交通への影響も今後の検討に加えていただきたい。
- ・宮城県との物流交通が多いことから、意見聴取の範囲を検討すること。
- ・渋滞などの交通課題に対し、空積みトラック削減等の物流業界の取り組みについても聞き取りをしていただきたい。

【共通】

- ・意見聴取において、さらに回収率を上げる工夫をすべき。
- ・渋滞やスタックによる滞留車両からの排出ガスが環境へ与える影響など、SDGsの観点からの評価も加えてはかがか。

【高規格道路ネットワークのあり方について】

- ・東北地方においては、高規格道路からなる4縦貫7横断の格子状ネットワークの整備がされておらず、日本海・太平洋2面活用を強化する物流ネットワークの構築等に向け高規格道路の早期整備・機能強化が必要。
- ・速やかに国により高規格道路として指定し、WISNETの実現に向け、取り組んでいただきたい。